

平成26年度実施施策に係る政策評価書

(経済産業省26-3-3)

政策名	3 対外経済	施策名	3-3 貿易投資			
施策の概要	我が国企業が持つ技術力をはじめとした強みを活かし、積極的に世界市場に展開を図っていくとともに、投資インセンティブや発掘・誘致・支援体制を強化するとともに、海外企業経営トップからの要望等を吸い上げて、具体的な制度改善につなげることにより、対内直接投資の拡大を図る。					
達成すべき目標	○我が国企業の国境を越えた貿易・投資等の事業活動の円滑化及び海外市場での我が国企業の競争条件の改善を図り、海外からの富の流入の増加を図る。 ○世界のヒト、モノ、カネを日本国内に惹きつけることにより、世界の経済成長を取り込む。					
施策の予算額、執行額等	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	3,363	1,568	3,647	1,018
		補正予算(b)	▲ 71	0	0	-
		繰越し等(c)	▲ 479	▲ 248	▲ 237	
		合計(a+b+c)	2,813	1,320	3,410	
執行額(百万円)	2,441	755	3,117			
施策に係る内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)					

測定指標	1	対内直接投資残高 (兆円)	基準値	実績値(*平成26年度から統計の計上基準に変更あり)					目標値	達成	
			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	32年度	-
			18.5	18.4	17.5	17.5	17.8	18.0	23.3	35.0	
		年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2	グローバル企業の日本でのビジネス展開の支援施策の実施状況(採択件数等)	施策の進捗状況(実績) 「産業スペシャリスト事業」により、能動的な誘致活動を展開した。同事業により、10社の外国企業誘致に成功した。また、「対内投資等地域活性化立地推進事業費補助金」において、12件の補助事業を実施した。						目標 26年度	達成	
								グローバル企業支援施策の強化	達成		

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり (判断根拠) 我が国の対内直接投資残高は平成20年をピークに伸び悩んでいる中で、平成26年度においては、誘致・支援体制の強化や立地環境の整備等の施策の実施を通じて、対内直接投資残高は23.3兆円まで増加しており、統計基準の見直しに伴う増加額を差し引いたとしても、改善の兆しが見えると考えられるため。	
	施策の分析	我が国の対内直接投資残高は平成20年をピークに伸び悩んでいる中で、平成26年における対内直接投資残高が23.3兆円まで増加したことは、日本再興戦略において定められた目標値には到達しないものの、今後の目標達成に向けて改善の兆しが見えたといえる。 平成26年度には、産業スペシャリスト事業を活用し、外国企業3,820社に対して個別アプローチを行いつつ、対日投資が見込める外国企業407社に対しては、具体的な市場情報や投資計画を提案するなど、能動的な誘致活動を展開した。同事業により新たに10社の外国企業誘致に成功するとともに、事業を担当した経済産業省とジェトロにおいて、対日投資が見込める外国企業情報と誘致ノウハウの蓄積を得ることができた。 また、日本に高付加価値拠点を設けるグローバル展開企業等を対象とした「対内投資等地域活性化立地推進事業費補助金」において、12件の補助事業を実施した。 加えて、外国企業に対するトップセールスを強化するべく、平成26年5月にはロンドン、9月にはニューヨークにおいて、安倍総理出席の下、対日投資セミナーを開催し、日本市場の魅力や政府の取組等に関する情報を発信した。 このように、平成26年度においては、国内事業環境の改善に加えて、外国企業誘致・支援体制の強化や積極的なトップセールスの実施を通じて、対内直接投資残高の増加につながったと考えられる。今後も、対内直接投資残高の倍増に向け、着実に施策を進めていく。	
	次期目標等への反映の方向性	閣僚級会合である「対日直接投資推進会議」を司令塔として、投資案件の発掘・誘致活動、必要な制度改革の実施に政府横断で取り組む。	
学識経験を有する者の知見の活用	政策評価のあり方を検討する場として、「政策評価懇談会」を設置。その議論を踏まえて省としての政策評価体系や評価の在り方を決定。		
政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	日本銀行「国際収支統計」		
担当部局名	貿易経済協力局通商金融・経済協力課、貿易振興課 地域経済産業グループ産業施設課	政策評価実施時期	平成27年8月